

クマタカの威力



佐藤 弘

写真のクマタカは、縄張りに侵入した撮影者を不審に思い偵察に飛来したようだ。本種がまさしく頭上を飛び、識別の決め手になる後縁が膨らんだ独特の翼形がよく分かるなかなかの一枚だ。

クマタカは深山幽谷に棲む謎に包まれた鳥かと思えば、そうでもない、長年これを見守る知人は言う。確かに人を寄せつけない急峻な高所の木に営巣するが、山肌を吹き上がる上昇気流に乗って点在する狩り場を巡る行動範囲は相当に広いらしい。

しかし平野部までは遠征しないようだ。トビのように地表が陽に温められて所々に発生する上昇気流を巧みに利用するほど、器用ではないのだろう。何しろ翼がデカイから少しの距離でも羽ばたき飛行は難儀とみえる。そんな翼でよくも獲物を巣へ運ぶものだと思うが、裏返せば上昇気流なしには生きられないということか。

ちなみに、越冬の為に南方へ渡るサンバやハチクマなどを除き、多くのワシ・タカには洋上の長距離羽ばたき飛行は、まず無理らしい。

普段は海辺で暮らし、上昇気流にあまり縁がないミサゴは羽ばたき飛行で頑張るが、それが少しでも楽になるように、翼の幅がちょっと細いことをバードウォッチャーは見逃していないと思う。

これが1kg超のコイを抱えて上昇気流に乗り山肌をジグザグに登って高度を上げ、あっぱれ山越えした様子は本編第2話で述べたとおり。やる時ややる、その知恵に驚いたものだ。

さて、水鳥やタカの渡りなどの観察ポイントには、ヌシのようなベテランが居る。その方々は毎年シーズン中は連日通い詰め豊富な情報を持ち、何かと教えてくれる頼りになる存在だ。

ある日タカを観察する峠でヌシさんが、林道の路面にサル(ニホンザル)の生皮の切れっばしを見つけたが、その日イヌワシは飛ばなかったからクマタカがひと仕事した跡だろうと言う。母ザルの背に乗るのは子猫の大きさだし、小型犬ほどの子ザルもウロチョロしているから格好の標的になったのだろう。これでサル達はこの翼形の大きな鳥の恐ろしさが身にしみたに違いない。近年やたら数が増え、怖いものなしに農作物を食い荒らす害獣を追い払う天敵として、クマタカにはもっと人里を飛んでほしいくらいだ。

先の知人がボソッとつぶやいた。繁殖期のクマタカの調査に山へ入る際は誰かに尾行(おしり)られていないことを時々確かめ、もしも異常を感じたら行き先をごまかすと言う。食物連鎖の頂点に立つクマタカにヒトという天敵がいたとは…。

「雪は人の心の中にも降る?」
それと同じことが人の心の中にも言えるように思っています。とかく嫌なこと、面倒なこと、都合の悪いことは何かと理由をつけて後回しにしてしまったり覆い隠してしまおう。これがつまり雪。積もらせて一時はそれで気持ち楽になり、忘れていられるかもしれないかもしれませんが、雪の下の課題は何一つ解決しておらず、やがて否応なしに向き合わなければならぬ時がくる。先のばしすればするほど大変になってしまいます。
私自身、学生時代を含め振り返ってみれば、これまで随分と雪を降らせてきたことがあったなと…。
「冬来たりなば春遠からじ」
おかげ様で弊社は第四五期を迎えることができました。しかし、なかなか新型コロナウイルス禍の終息が見えない、まさに「冬」ともいえる状況下において、明確に先読みをして斬新な手段を講じることが容易ではないと感じています。けれど、このような時だからこそ、積み残してある課題や面倒なことをそのままにせず、一つ一つ向き合い、試行錯誤をしながら来たるべき「春」に備え力を蓄える時期と捉え進んで行きたいと思っております。そして多少なりともお客様の力となれるよう、鋭意努力してまいります。
本年も何卒宜しくお願い申し上げます。



謹んで新年のお慶び申し上げます。

お客さま、こんにちは。いかがお過ごしでしょうか。

昨年は新型コロナウイルスの脅威で翻弄される一年となってしまいました。そこへもつて昨年の十二月には日本列島に襲来した寒気が新潟県と群馬県、東北地方を中心に短時間に記録的な大雪をもたらし、高速道路上で多数の車が立ち往生したり、地滑りなどの災害が発生しました。

このように雪は適度に降れば恵みをもたらしますが、降りすぎると支障をきたすという両面を持ち合わせていることを実感させられます。そしてまた雪は全てのものを覆い隠し、幻想的で美しい景色を演出します。けれど、消えた後は当たり前前のことですが、現実の風景が出てきます。

「雪は人の心の中にも降る?」

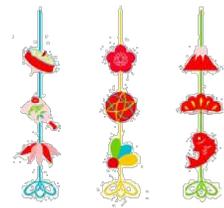
それと同じことが人の心の中にも言えるように思っています。とかく嫌なこと、面倒なこと、都合の悪いことは何かと理由をつけて後回しにしてしまったり覆い隠してしまおう。これがつまり雪。積もらせて一時はそれで気持ち楽になり、忘れていられるかもしれないかもしれませんが、雪の下の課題は何一つ解決しておらず、やがて否応なしに向き合わなければならぬ時がくる。先のばしすればするほど大変になってしまいます。

私自身、学生時代を含め振り返ってみれば、これまで随分と雪を降らせてきたことがあったなと…。

「冬来たりなば春遠からじ」

おかげ様で弊社は第四五期を迎えることができました。しかし、なかなか新型コロナウイルス禍の終息が見えない、まさに「冬」ともいえる状況下において、明確に先読みをして斬新な手段を講じることが容易ではないと感じています。けれど、このような時だからこそ、積み残してある課題や面倒なことをそのままにせず、一つ一つ向き合い、試行錯誤をしながら来たるべき「春」に備え力を蓄える時期と捉え進んで行きたいと思っております。そして多少なりともお客様の力となれるよう、鋭意努力してまいります。
本年も何卒宜しくお願い申し上げます。

お客様
元気通信
むげ



■【私の相棒】



私の時間 ペンリレ

生産部 工務 濱本 雄也

相棒と言われると大体の方はドラマなどを連想されると思いますが、私の場合は「車」です。

車は元々あまり興味はなかったのですが、初めて車を購入する時に父親に「どうい車が好きなんだ」と言われ、姿や形をどうにか説明したところ、N社のスポーツタイプのコンパクトカーという事が分かった。

その後私は、その車に興味を持ち色々調べたらいつの間にかその車の虜になってしまい散々探し回り、やっとその車を見つけ購入することができました。

私が気に入っているのは、見た目もですが、1番はスーパーチャージャーという過給機の音です。ターボの音とは違い、それは例えるなら掃除機の音に近く、他の車より新鮮かも知れません。しかもこれを搭載した車は、ここ最近の日本車だと、この車しかありません。

この車でドライブに行くと気持ちがよく、いい気分転換になります。まだ乗ってから2年位しか経っていませんが、今では私の最高の相棒です。これから大事に扱い事故のないよう乗っていきこうと思います。

我が家のペット



■【セキセイインコ】

生産部 工務 鮫島 貴希

新洋技研工業株式会社に入社して約9カ月になりますが、うちには転職する以前からずっと愛して止まない小鳥ちゃんがあります。セキセイインコが2羽、キンカチヨウという鳥が2羽の合計4羽です。

今回はセキセイインコ2羽についてお話ししたいと思います。

青いインコがパクちゃん、黄色いインコがピーちゃんです。

パクちゃんがうちに来たのは約2年前、ピーちゃんは約1年半前ほどでしょうか。パクちゃんの名前の由来は、ヒナの時の餌への食いつきが凄まじく、パクパクパクパク餌を食べていたのでパクちゃん、ピーちゃんはパクに比べると数倍ピーピーピー鳴く元気な甘えん坊さんなのでピーちゃんになりました。

意外に知られていないかもしれませんが、インコも少し言葉を覚え、おしゃべりできるのです。ピーはあまり上手く喋りませんが、パクは「パクちゃん」「キター」「ちゅっちゅっちゅっ」「偉い子ちゃん」「ピーちゃん」と、様々な言葉を覚えています。彼は普段「ピーちゃんキターちゅっちゅっちゅー」、「パクちゃん偉い子ちゃん」など、単語を組み合わせて文を話すのですが、少し間抜けな彼はその言葉がたまに混ざってしまいます。

「ちゅっちゅっちゅっ」と「キター」が混ざり「ちゅっちゅったー」と言う時もあるれば、「ピーちゃん」「パクちゃん」「キター」が混ざり、「ピーちゃんパクったー」と喋ったり、思わず微笑んでしまいます。

彼らがうちに来てから毎日愛情が溢れる日々です。



本気のスポーツ

基幹事業サポート 角田 義秋

今回で2回目の登場となりました。前回は書いたのですが、私はスポーツ好きで、大抵のスポーツは観るより自分でやってみる事が好きです。これまで色々なスポーツをしてきた中で、一番本気で取り組んできたのがスキーといえます。初めて自分のスキーを履いたのが高校生の時。友達のアドバイスでカザマのスキーを買いました。そして初めてグレンデに立った時は、これで左右に曲がれたりできるのかな?と不安でした。ところが実際に滑ってみると、格好はともかく何とか曲がる事が出来ました。大股開きで不格好な滑り方(正式名称はブルークボーン)で曲がるようになり、徐々にスキーがおもしろくなってきました。

社会人になり、雪のない横浜に転勤になりましたが、冬になるとほぼ毎シーズンスキーには行っていました。独身時代は会社の独身寮に入っており、寮の悪友達と5月の富士山8合目から5合目まで滑ったことがあります。5月の富士山は新雪も降らない上に、強風の痕跡で酷いスプーンカットでしたが、無事に5合目の駐車場まで降りてきました。その頃は滑りには自分なりに自信は持っていたものの、今考えるともし転倒したら滑落してしまう危険なことをしていたなと思います。

結婚してから息子が生まれるまでスキーは本気でやりました。家内にも「どうせやるならスキーの資格を取ったら」と勧めもあり、毎週末新潟県の浦佐スキー場の特別講習に通いました。自分の滑りには自信を持っていましたが、結局我流でここまでやってきたので、日本で一番と言われる浦佐スキー学校でコテンパンにしごかれました。その甲斐あって2級のテストでは1位合格、その2か月後に挑戦した1級のテストでは2位合格する事ができました。

さて、そうなるとその上を目指すのが人間、準指導員、指導員を受験するには公認のスキークラブに在籍していなければならない規定があり神奈川県スキー連盟に紹介してもらい、ユーベルスキークラブに入会しました。そこには小沢さんという全日本のデモンストレーターも在籍していました。まず準指導員を受験ですが、技術と救急の学科試験がありそれには無事合格、後は長野県の戸隠高原スキー場で実技テストです。スキー板も新型に更新して1か月後の実技テストに臨みました。戸隠高原の最高斜度は39度、この斜面が今でも悔しい。急斜面ウエーデルンは得意としていた筈なのに、検定の後半違和感を覚え滑りを中断しスキー板を確認したところブーツの後ろから折れているという信じられない光景でした。検定は全部で10種目、残り3種目を残して棄権しました。後で先輩から聞いた話によると、合格しても一週間に亘り開かれる技術講習会に2回欠席すると資格は消滅するとの事で、普通のサラリーマンには無理と判断、再挑戦は断念しました。その後は私のホームグレンデである石打丸山スキー場に息子を連れて行くようになりました。

◆ちょっと豆知識◆その46 「忘れられぬ美味なるもの」

技術営業部 取締役部長 成田 護 (mamoru@shinyo.co.jp)



お取引先の皆様には、旧年中大変お世話になりました。ありがとうございます。
一年前には想像だにできなかった世界が出現し、酒類業界を取り巻く環境も大きく様変わりしました。私どももそうですが、お客様皆様方もこの状況にまだ対応できずにいらっしゃるものと思います。皆で知恵を出し合い、新しい世界に対応して参りましょう。

話は変わりますが、経験的に、酒造りに携わる人は酒だけでなく「食」に関する関心も高く、また高い確率で料理も好きだったり得意だったりする方が多いように思います。

実際、フェイスブックで私のお友達となっている業界の方の投稿を見ると、朝から本格的な中華料理つくったとか、畑で採れた野菜をピクルスにしてみたとか、豚汁つくろうとしたら豚肉なくてウインナー入れたら美味しかったとか、最近のものだけピックアップしてみてもそんな話ばかり。

本稿をご覧の方も業界の方ばかりですので、きっと食に関する関心は高いはず。

私がこれまで食して「これは美味しい！」と思ったものをご紹介します。こういう「豆知識」もたまには良いですよ？

■村上の塩引き鮭

新潟県の北部に村上市という城下町があります。「鮭」で有名なところで、彼の地で永年食されてきたのが「塩引き鮭」で、鮭の加工品のうち、最もシンプルで、かつ最も価値のあるものです。

採れた鮭の内臓を除き、丁寧に塩を擦り込みます。熟成、塩出し、干す工程を経て、およそ一ヶ月で出来上がる塩引き鮭。

三枚におろしてミディアムレアに焼いて食べるだけ。その身の艶やかさのなんと美しいことか…。

■丸山海苔店の海苔

取引先の社長さんから教えていただいた海苔。

一度食すと海苔の概念が変わる、それくらい美味しい海苔です。「たかが海苔でそんなに…」と思うなかれ。

グレードの低いものでもちょっと購入を迷う価格ですが、一度お送りした先の方とは必ず「海苔」の話になります。それだけ印象に残るのでしょう。

いずれも通販で入手できます。籠ることが余儀なくされそうな昨今、取り寄せてご家族と楽しんでみてはいかがでしょうか。

チョコ

チョコは好きですか



生産部 島貫 修一

ある物を少量だがほぼ毎日食べており、しばらく食べないでいると無性に食べたくなる(禁断症状だ)。それはチョコレート。幼稚園から小学校低学年の頃、父の東京出張の土産は上野のアメ横で買った Hershey's (ハーシーズ) のチョコ。口の中でとろける甘味は今でも思い出す。時が過ぎ自分が出張するようになったら、職場の女性社員への土産は同じくアメ横の輸入品のチョコ。建物の中の狭い通路に小さな店があり、買っていたのは主にハーシーズとミルクとコートドールだったかな。パッケージの色で選んでいたがとても喜んでくれた。

幼いころに刷り込まれたチョコ味は、その後の人生の味覚を支配して、アイスクリームもクッキーもケーキも好みはチョコ味で、次にバニラとイチゴ味。家と会社の冷蔵庫にはチョコを常備しており、愛煙家がいっぱくするような感じで時々食べている。そのせいか伝統的な甘い和菓子はほとんど食べない。例外で食べるのは小豆の「つぶあん」を使った笹団子・たい焼き・どら焼きなどで、洋菓子のシェアは 99.9%。ただし醤油味の煎餅や柿の種は食べます。

まるでチョコ依存症と言ったところだが、体重にも血糖値にも影響はない。それどころか工場での作業が忙しい時は、意識してチョコを食べないと体重が減ってしまう。特に冬は要注意。正月休みにカメラを持って都内を散策する時も、バッグには必ず赤い箱のチョコ(26枚入り)が入っている。一休みする時に食べたり電車の中で食べたりで、例えてみれば旅の友のような存在。チョコを食べないと生きていけないなんて、やっぱりチョコ依存症かな。

適度な量を食べれば健康に良いカカオポリフェノール。これからも食べ続けよう。